

卷之五十九

四

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

後六之撰

泉武部 十首

相摸 同

惠慶法師 八首

赤深濠門 同

能周法師 同

伊勢大補 同

曾祢好忠 六首

道命河因梨 同

藤原實方 五首

形如八範兼卿

卷之五十九

四

卷五十九

友原道信 同

平貞文 四首

清原深養父 同

大江嘉言 同

源道深 同

道雅 同

增基 同

公任 同

大江千室 同

左原元方 同

補親 同

高遠 同

馬内侍 同

友原義孝 同

紫式部 同

道總 同

友原長能 同

定頼 同

上東門院中 同

兼覽王 二首

四十五

友原義孝

卷五十九

四十五

左原棟梁 同

文屋康秀 同

藤原忠房 同

菅原補昭 同

大江匡衡 同

安法法師 同

清女納言 同

泉式部十首

美奈の木の葉をばかしのさるはてのまきばあひの  
さしきよの葉をばかしのさるはてのまきばあひの  
美奈の木の葉をばかしのさるはてのまきばあひの  
さしきよの葉をばかしのさるはてのまきばあひの  
美奈の木の葉をばかしのさるはてのまきばあひの  
さしきよの葉をばかしのさるはてのまきばあひの  
美奈の木の葉をばかしのさるはてのまきばあひの  
さしきよの葉をばかしのさるはてのまきばあひの  
美奈の木の葉をばかしのさるはてのまきばあひの  
さしきよの葉をばかしのさるはてのまきばあひの

ふらふらうらうら道中入道今とあつたてはさかづきの月

相換 十首

ふらふらうらうら道中入道今とあつたてはさかづきの月  
あつたてはさかづきの月  
あつたてはさかづきの月  
あつたてはさかづきの月  
あつたてはさかづきの月  
あつたてはさかづきの月  
あつたてはさかづきの月  
あつたてはさかづきの月  
あつたてはさかづきの月  
あつたてはさかづきの月

惠慶法師 八首

あつたてはさかづきの月  
あつたてはさかづきの月  
あつたてはさかづきの月  
あつたてはさかづきの月  
あつたてはさかづきの月  
あつたてはさかづきの月  
あつたてはさかづきの月  
あつたてはさかづきの月  
あつたてはさかづきの月  
あつたてはさかづきの月

いふことなきもなほもあはれむいふことなきもなほもあはれむ

赤深 八首

むしむしとてけりてけりてけりてけりてけりてけりてけりてけりて  
ゆつ唐土井とてけりてけりてけりてけりてけりてけりてけりて  
あはれむことなきもなほもあはれむいふことなきもなほもあはれむ  
いふことなきもなほもあはれむいふことなきもなほもあはれむ

いふことなきもなほもあはれむいふことなきもなほもあはれむ  
いふことなきもなほもあはれむいふことなきもなほもあはれむ  
いふことなきもなほもあはれむいふことなきもなほもあはれむ  
いふことなきもなほもあはれむいふことなきもなほもあはれむ  
いふことなきもなほもあはれむいふことなきもなほもあはれむ  
いふことなきもなほもあはれむいふことなきもなほもあはれむ

終因 八首

いふことなきもなほもあはれむいふことなきもなほもあはれむ  
いふことなきもなほもあはれむいふことなきもなほもあはれむ  
いふことなきもなほもあはれむいふことなきもなほもあはれむ  
いふことなきもなほもあはれむいふことなきもなほもあはれむ  
いふことなきもなほもあはれむいふことなきもなほもあはれむ  
いふことなきもなほもあはれむいふことなきもなほもあはれむ  
いふことなきもなほもあはれむいふことなきもなほもあはれむ  
いふことなきもなほもあはれむいふことなきもなほもあはれむ  
いふことなきもなほもあはれむいふことなきもなほもあはれむ  
いふことなきもなほもあはれむいふことなきもなほもあはれむ

侯勢大輔 八首

あしるすきよはなりの重揚ふらに  
さうらひの心もあはれ邦云く  
小敷あはれきふてらるる人  
あはれもくはるる自業は花  
あはれ御もくもあはれ人  
あはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれ

好色 六首

あはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれ

道命 六首

卷五十五

四十一

春百五十一

思ふあはらむ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ

實方 五首

あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ

道信 三首

あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ

貞文 三首

あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ

源養文 四首

あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ  
あはれぬ心はあはれぬ

春百五十二

五十一

春百廿七

雲をひらきぬる風をよみては  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす

嘉言 四首

あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす

道源 四首

あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす

道雅 四首

あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす

増基 四首

あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす  
あはれなる心ぞもよほす

春百廿七

111



那のこゝろをよみてはしる事候は初めははまをたて  
あつらひてはしる事候は初めははまをたて  
あつらひてはしる事候は初めははまをたて

元方 三首

春のゆきをよみてはしる事候は初めははまをたて  
あつらひてはしる事候は初めははまをたて  
あつらひてはしる事候は初めははまをたて

千里 三首

月をよみてはしる事候は初めははまをたて  
あつらひてはしる事候は初めははまをたて  
あつらひてはしる事候は初めははまをたて

公任 三首

うきをよみてはしる事候は初めははまをたて  
あつらひてはしる事候は初めははまをたて  
あつらひてはしる事候は初めははまをたて

輔親 三首

あつらひてはしる事候は初めははまをたて  
あつらひてはしる事候は初めははまをたて  
あつらひてはしる事候は初めははまをたて

高宗 三首

あつらひてはしる事候は初めははまをたて  
あつらひてはしる事候は初めははまをたて  
あつらひてはしる事候は初めははまをたて

卷百三十一

五十二

沿水のほとけはあまのついでに花さきしは山吹さるるあまのついでに  
逢坂のほとけのついでに梅さきしは山吹さるるあまのついでに  
逢坂のほとけのついでに梅さきしは山吹さるるあまのついでに

馬内侍 三首

いづれに花さきしはあまのついでに花さきしはあまのついでに  
いづれに花さきしはあまのついでに花さきしはあまのついでに  
いづれに花さきしはあまのついでに花さきしはあまのついでに

義孝 三首

いづれに花さきしはあまのついでに花さきしはあまのついでに  
いづれに花さきしはあまのついでに花さきしはあまのついでに  
いづれに花さきしはあまのついでに花さきしはあまのついでに

いづれに花さきしはあまのついでに花さきしはあまのついでに

定式部 三首

いづれに花さきしはあまのついでに花さきしはあまのついでに  
いづれに花さきしはあまのついでに花さきしはあまのついでに  
いづれに花さきしはあまのついでに花さきしはあまのついでに

長能 三首

いづれに花さきしはあまのついでに花さきしはあまのついでに  
いづれに花さきしはあまのついでに花さきしはあまのついでに  
いづれに花さきしはあまのついでに花さきしはあまのついでに

定頼 三首

傍花さうらぶふれは喜ぶのむらうらふもははれははらふと  
水意あつてはあつたうらふれ大井川にたはれあふふと  
あつたあつたの別れ思ふとあつた川のせきとあつた地獄とあつた

上東門院中將 三首

思ふはれあつたあつた山里の花まつたの春のはせく  
あつたあつたのあつたあつたあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた

兼覧王 二首

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた

棟梁 二首

春のあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた

康秀 二首

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた

忠房 二首

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた

棟昭 二首

春風の吹くも春の情のこころをよそよそと  
あはれむも春の情のこころをよそよそと

匡衡 二首

逢坂の国はあはれむも春の情のこころをよそよそと  
川舟のつらさも春の情のこころをよそよそと

安達 二首

夏夜もあはれむも春の情のこころをよそよそと  
あはれむも春の情のこころをよそよそと

清女納言 二首

あはれむも春の情のこころをよそよそと  
あはれむも春の情のこころをよそよそと

あはれむも春の情のこころをよそよそと  
あはれむも春の情のこころをよそよそと

誰とて